

No. 157

令和5年11月30日
宮城県七ヶ浜町議会

しちがはま 議会だより

ながすかで
とびっきりの笑顔

特集

攻めの福祉！待機児童ゼロ達成へ 2

議案

「水道事業」から「上下水道事業」に 11

公約実現のため事業創設の考えは
など 7人が一般質問 15

委員会レポート
これも議会の仕事です 23

攻めの福祉！待機 一般会計支出総額 76億9813万円は

令和4年度
決算

残ったお金 6億3499万円

令和5年度の特定事業へ 2億7006万円

令和5年度に繰り越し 3億6493万円

金額は合計に合わせて千の位
で四捨五入しています。



令和4年度に開園した保育園

支出 歳出

76億9813万円

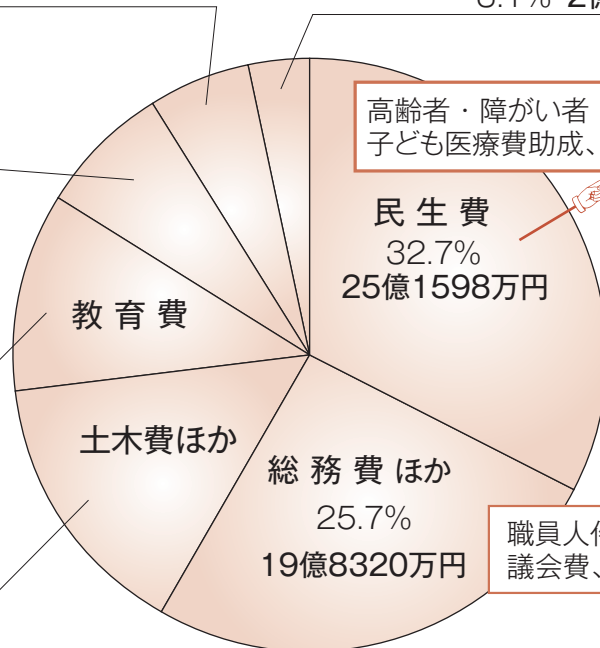
公債費(借金返済)
5.7% 4億3879万円

農業水産振興、松くい虫等防除ほか
農林水産業費・商工費・労働費
3.1% 2億3928万円

ごみ処理などの清掃費、
検(健)診などの保健衛生費ほか
衛生費 7.3% 5億6019万円

学校管理費、生涯学習セ
ンター運営費、スポーツ
施設維持管理費ほか
10.6% 8億1516万円

道路管理、下水道管理、
災害復旧費ほか
14.9% 11億4553万円



高齢者・障がい者・児童福祉、
子ども医療費助成、保育所運営ほか

職員人件費、国際村運営費、
議会費、消防費ほか

決算 審査



熊谷 明美
副委員長



仁田 秀和
委員長

令和4年度の各種会計決算審査は、特別委員会を設置して9月26日から10月5日までの日程で行いました。

担当課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答や総括質疑により慎重に審査しました。

その後、討論・採決の結果、全会計の決算を認定しました。主な内容を要約してお知らせします。

どのように使ったのか

各課審査で質疑応答

※各課長および所長などからの回答です。

総務課

自治振興事業の成果は

問 令和4年度は、コロナ禍で地区の方々も苦勞を余儀なくされていたが、町としての事業評価は。

答 地区ごとに工夫されながら、夏祭りの実施など、成果があったと評価している。

職員研修は

問 新人研修やメンタルヘルス研修などの実施状況は。

答 新人研修は、接遇マナーの講師を招きクレーン対応などの研修を実施した。メンタルヘルスは、東北大の富田博秋^{とみたひろあき}教授を講師として招き、心身の健康増進に向け研修を実施している。



防災対策室

防犯対策事業は

問 防犯パトロールが、平成30年度比で180%増加しているが内容は。

答 防犯協会にお願いし、青色パトローカーを使った防犯対策を実施した。



見守りありがとうございます

危険ブロック塀等 除去推進事業は

問 事業の進捗状況は。

答 令和4年度には、対象103件中、56件で実施され、47件が未実施となっている。また、事業は今後も継続する。

通学路交通安全 プログラムの成果は

問 通学路交通安全プログラムは令和4年度は書面決議だが成果は。

答 通学路の合同点検と路面標示など設置した。

財政課

役場庁舎維持管理は

問 修繕箇所が年々増加している。大規模改修などの考えは。

答 大規模改修などの考えはない。



老朽化が著しい役場庁舎

水道事業所

水の供給源は

問 仙南仙塩広域水道と仙台市の2系統確保している理由は。
答 漏水や災害での補完のため2系統を備えている。



安心・安全な水

政策課

ふるさと納税推進事業は

問 令和3年度比から半減しているが要因や挽回策は。また、「町長おまかせ」の内容は。
答 他市町村でもプロテインを取り入れ始めたことにより減少している。今年4月からパートナーサイトを増やしている。町長おまかせは、バス事業に充当している。

ぐるりんご運営事業は

問 事業収支は。
答 町の補てんは約7960万円である。内容は、運行経費が約1億208万円、運賃収入2518万円である。

情報システム事業は

問 管理運用で、セキュリティやBCPは。
答 セキュリティガイドラインのつとり実施し、BCPはそれぞれ各課で取り組んでいる。

DX推進事業は

問 RPA等の高度な技術に対応するための研修などは。
答 令和4年度でRPAは検討している。今年5月に、株式会社船井総研デジタルと「DX推進のための連携に関する協定」を締結した。今後は協力して計画を推進していく。

ひとロコモ

「RPA」
 人がパソコン等で行う作業を記憶し、高速で正確に自動化できるソフトウェアロボット技術のこと。
 R（ロボティクス）P（プロセス）A（オートメーション）の略。

建設課

ながすか多目的広場

管理事業は

問 快適な利用を促すための積極的な案内は。
答 利用者から、日差しが強いという声や授乳する場所などの要望があった。利用者からの申し出があったときに職員が対応した。



利用しやすい施設管理を

道路維持整備事業は

問 町道の除草は、町民の方からも多く指摘される。効率的で適切な工夫は。
答 草刈りは、春と秋の年2回実施している。除草後伸びてきたところは、職員が刈っているが、高所は業者委託となる。電柱周辺などの除草は事業者に伝えている。

災害公営住宅

維持管理基金は

問 年度末残高が約18億円となっている。基金の目標値や考え方は。
答 目標値はない。将来の大規模改修や不測の災害に備えた積み立てであり、資材の高騰など厳しく見積もる必要がある。

長寿社会課

高齢者福祉事業は

問 敬老会は、出席者が年々減少しているが工夫は。
答 コロナが完全に収束していない状況で年々減少している。皆さんに喜んでいただける記念品などを検討していきたい。

介護保険事業は

問 一般介護予防事業の参加者は、女性が多く男性が少ないが、参加を促す対策は。
答 男性はなかなか外に出ない傾向があるため、対策を検討していきたい。

七ヶ浜ハッピープロジェクト事業は

問 事業内容は。
答 思いやりや気遣い、感謝などによって出されるハッピーホルモンを促しながら、町民の健康づくりに取り組む事業として始めた。令和4年度は、講師を招き「ありがとう」「笑顔」をテーマに講演会を開催し、130名が来場した。



食育推進事業は

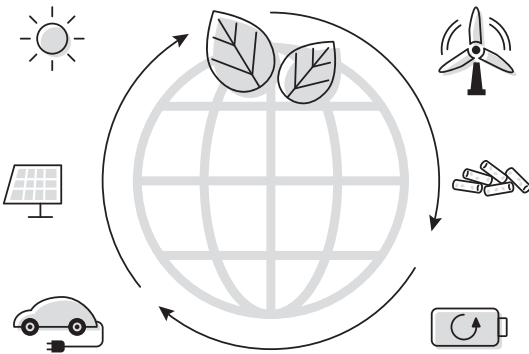
問 3歳児健診の問診によると、欠食率が大幅に増加しているが要因は。
答 副町長 3歳児のみならず増加している。保護者の欠食率が子どもにも影響している可能性がある。

環境美化推進事業は

問 監視カメラ設置の効果は。
答 地区からの要望により不法投棄や違反ごみが多い場所に設置している。違反ごみの解消などの効果があった。

地球温暖化防止事業は

問 みやぎ環境交付金活用により、街路灯8基をLED化したのとこの効果が。
答 交付金の活用により、防犯灯や街路灯のLED化で効果があると考えている。



男女共同参画推進事業は

問 普及啓発やパネルキャラバン、男飯の3事業を実施した成果は。
答 目的達成の判断は難しいが、男飯では男性が料理しながら気付きを得られたのではないかと評価する。

生涯学習センター事業は

問 中央公民館前の健康遊具の利用状況は。
答 利用者数の把握はしていないが、今後3X3コート整備により、利用が促されると考える。



利用者の増加が望まれる

文化芸術活動支援事業は

問 補助内容は。また、加盟団体に加入することによるインセンティブなどはあるのか。
答 文化協会に45万円の補助である。また、加盟団体に対しては、施設使用料が5割減免などである。

菖蒲田海水浴場海開きは

問 事業内容や評価は。
答 海水浴場の海開きを実施し、関係団体に対し花火や監視カメラ、救護用品などを補助した。来場者数は4万9122名で、事故やトラブルもなく実施できた。

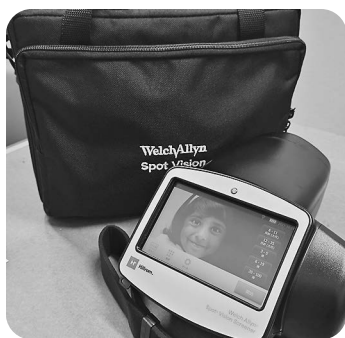
フィッシャーマンズ・チャレンジ事業は

問 トリガイ飼育成果や課題点は。
答 5ミリまで育成できたものをコンテナに垂下し、9月から4月頃まで8センチ程度に育成できた。これまで増産できるように研究してきたが、水深などの影響で死滅してしまうのが課題である。

ビジョンスクリーナーの効果は

問 3歳児健診の際、視覚の確認でビジョンスクリーナーを導入したが、効果は。

答 導入前はご家庭でやっていただくなどにより、理解が進まなかったが、自動判定されるもので効果はあったと評価している。



適切な視覚検査のために
(導入されたビジョンスクリーナー)

産前・産後 サポート事業は

問 ICTを活用し、随時相談が受けられる体制の整備は。

答 ポータルサイトでも対応しているが、個別案件は直接対応しなければならぬ。検討してきたが、体制整備には至っていない。今後、DX推進で検討していく。

放課後児童 健全育成事業は

問 利用できなかった児童は。またその対応は。

答 はまぎく放課後児童クラブで待機となった児童がいたが、指定管理者と協議し受け入れが可能となった。

産婦健康診査等事業は

問 産婦健診の際、新たに乳房ケアを実施したが、事業評価は。

答 令和3年度でアンケートを実施してから行った。当初は必要としていない方もいると思ったが、利用された方からは良かったと評価を得ている。正しい知識やスキルを身につけるためにも良い機会になると考える。

国際村

国際交流員招致事業は

問 七ヶ浜リユニオン事業の内容は。また、町民が参加できる事業展開は。

答 新規事業で、これまで関わり

のあった歴代のCIRやALITとの継続的なコミュニケーションの構築などを、これからの町づくりなどに活かすためにリモートで実施したものである。今後、町民参加での実施を検討したい。

国際村事業協会は

問 国際村創設から、事業協会として運営しているが、指定管理などへ移行する考えは。また、事業が毎年同じに見えるが。

答 当初から、任意団体として運営している。指定管理も検討したが、町内の団体が、まだ育っていない。また、事業はコロナ対策をしながら、事業実施され評価している。今後は同じものにならないように促したい。

問 ぶよぶよeスポーツ親子教室は参加者8名だったが事業評価は。また、ぶよぶよの選定理由は。

答 参加者は少なかったと認識している。保護者に理解されにくいので、理解増進に努める。また、ぶよぶよは、包括連携協定を締結しているセガサミーのコンテンツであることや、公共施設にふさわしいゲームとして選定している。

ICT教育は

問 タブレット端末は学校内で利用していたが、令和4年度中に家庭への持ち帰りを実施する考えは。

答 家庭でのインターネット利用状況を確認した。インターネットの利用が確認できたので、今後、実施に向けて取り組んでいく。

学校施設の開放は

問 施設利用を促す周知は。また、アクアリーナ休館に伴う利用は。

答 登録団体は22団体で、多く利用されているため、あえて周知はしていない。また、アクアリーナの代替えではない。



利用の拡充を
(七中体育館)

特別支援教育の支援員は

問 支援員の設置基準は。

答 対象となる入学予定の児童生徒をあらかじめ把握し、障がいに応じて支援員を配置する。

総括質疑



総括質疑とは、課ごとに質疑を行った後、十分な回答ではないと判断される場合、委員会同意のもと改めて町長への質疑を行うことだよ。

消遥のまちづくり計画は

町長 具現化に向けて取り組んでいく

問 令和4年度に、「七ヶ浜町消遥のまちづくり計画」を策定した。

魅力的な消遥のスポットが数多く点在していることから、まずは菫蒲田浜地区に限定し、取り組みを進めるとしている。説明では、町全体が消遥のスポットであるが、スタートから全体を組み入れるのは難しく、まずは招又をスポットとしてスタートしていくとのことである。しかし、全体像をしっかりと計画に入れておかなければ、町民全体への周知や認知は進まないのではないかと、懸念が残る。また、今後の菫蒲田浜地区との協議の中で、内容が変わっていく可能性があるため、議会や町民への周知等はしてこなかったとのことだが、目的を示した上で協議していくことも重要と考える。計画の内容や町長の考えは。

答 町長 計画は消遥のまちづくりのイメージ素案となるものである。

発想の経緯は、これからのまちづくりを考えるにあたり、これまでの時代の変遷や移り変わりなど、町のポテンシャルを洗い出したのが始まりである。東北、北海道で最もコンパクトな町で、アップダウンがあつて、坂道を上った先には海が広がり、路地を歩くと本町らしい漁村の風景があり、風景を楽しみながら、消遥できる場所にしたいと考える。単に決められたルートを歩く、トレッキングなどではなく、構えずに気軽に散策できる町として考えた。ライフスタイルの変化や高齢化も含めて、住民や訪れる人の、職場や家庭、そして第3のプレイスとして、自分だけのくつろぎや癒しの空間など

がこれから求められると考える。また、菫蒲田浜周辺は、昔、文豪が訪れたと云われる有名な旅館や仙台に住む人たちの、別荘があつた場所である。閑静な佇まいで、住む人訪れる人の癒しの空間でもあつた。他に、町内には景観の良い場所も多数あるが、まずはモデルエリアとして効果を検証しながら、徐々に各エリアに広げていきたいと考えている。

理想としては、それぞれの地区がつながり、町全体が消遥できるエリアとなり、本町のイメージアップを図り、定住化促進につながるかと考える。今後は、地域の方と意見や議論を重ねながら具現化に向けて取り組んでいきたい。

問 計画策定業務の委託内容は。

答 政策課長 委託先は、株式会社プレイスメディアである。委託内容は、本町の現状と課題やポテンシャルの整理、町全体のコンセプトと目指すべき未来像の設定である。また、対象区域を菫蒲田浜地区として、現状の課題やポテンシャルを整理した上で、イメージ図の作成などである。

問 今後は全課に関わりが出ると思うが、取り組みや共通認識は。

答 副町長 若手職員でグループを作り、将来のまちづくりとしてのイメージデザインを発表会を行った。素材の洗い出しや具現化に向けて検討している。職員から今後のまちづくりを考えようとしてスタートした状況であり、共通認識している。



菫蒲田浜地区の五社稲荷明神

討論



…なので反対します

…なので賛成します

一般会計

反対 歌川 渡

次の点で反対する。

- ①一部において町条例や要綱に照らした事業が行われていない。
- ②町営住宅の単身者の年齢制限廃止や家賃減免制度の徹底、駐車場使用料の引き下げなどを実施すべき。
- ③通学路交通安全プログラム事業の充足、危険ブロック塀の早期改修助成の増額が必要。
- ④防災・減災施策は、耐震化工事促進助成の周知と助成費用の増額を行うべき。
- ⑤多子世帯支援事業の入学準備支援を中学校入学時にも実施すべき。

賛成 熊谷明美

次の点で賛成する。

- ①内水ハザードマップの作成やシンポジウム開催で豪雨や津波災害等の防災意識向上を図っている。
- ②学校教育支援センターにスクールソーシャルワーカーを常時配置している。
- ③新たに認可保育園ができ、待機児童がゼロとなった。
- ④3歳児健診の視覚検査に、屈折スクリーニング検査機器の導入やスポーツダーツを通じた取り組みで、子どもや大人の健康管理の充実を図った。
- ⑤「秋のお出かけ観光キャバパン」などに新規に参加し、地場産品の販路拡大に取り組んでいる。

下水道事業

反対 歌川 渡

一般会計からの繰り入れや資本費平準化債の償還額軽減分の還元など、町民負担の軽減を行うべきである。

賛成 佐藤 壮一

施設の老朽化等による長寿命化計画等で、計画的に改修を実施している。

国民健康保険

反対 歌川 渡

基金の取り崩しによる国民健康保険料世帯の負担引き下げや、一般会計からの繰り入れにより納税世帯の負担軽減を図っていない。

賛成 佐藤 直美

国民健康保険税収入の減少や、高度医療・高額薬剤の保険適用などによる厳しい財政運営が見込まれるなか、収納率向上を図り、保険事業の充実や医療費適正化に努めている。

介護保険

反対 歌川 渡

保険料の増加、在宅支援サービスが制限されたこと、第号被保険者の負担軽減などの施策が充分講じられなかった。

賛成 熊谷 明美

介護保険事業勘定の歳入歳出額、介護認定者数が前年度より増加したなか、予防事業や包括的支援事業が実施された。

後期高齢者医療

反対 歌川 渡

この制度は、少子高齢化が進むほど高齢者の負担額が増えるものであり、早急な廃止を求める。

賛成 仁田 秀和

県の広域連合が運営主体であり、町の役割は窓口業務が主なものである。また、低所得者への保険料軽減に配慮している。

水道事業会計

反対 歌川 渡

過大な現預金額の積み増し、仙台市からの高すぎる受水費再契約などにより町民の使用料引き下げを行ってこなかった。

賛成 佐藤 直美

老朽管更新工事や建設改良工事を計画的に実施し、安心して安全な水を安定供給していたこと、先を見据えた安定経営に努めていた。

※公園墓地は反対なく全会一致で可決

各種会計決算額



会計名	収入	支出	差引額	採決の結果	
一般会計	83億3312万円	76億9813万円	6億3499万円	賛成11:反対2	
下水道事業	5億8072万円	5億6790万円	1282万円		
国民健康保険	22億1572万円	21億8561万円	3011万円		
介護保険	19億7704万円	18億8190万円	9514万円		
後期高齢者医療	2億2782万円	2億2556万円	226万円		
公園墓地事業	1475万円	1435万円	40万円	全員賛成	
水道事業会計	収益的 ^{*1}	4億6774万円	4億4955万円	1819万円	賛成11:反対2
	資本的 ^{*2}	93万円	1億2707万円	▲1億2614万円 ^{*3}	

*1 収益的…水を家庭まで届けるための経費

*2 資本的…将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

*3 不足分は積立金(留保資金)などで補てん

財政指標

区分	令和4年度	令和3年度	説明
財政力指数	0.53	0.55	自主財源で賄える運営経費の基準指数。大きいほど財源に余裕がある。
経常収支比率	91.3%	89.2%	人件費などの必要経費の割合。比率が低いほど、財政に弾力性がある。

健全化4指標

(早期健全化基準の指標です。1つでも超えると歳入増加や歳出削減などの財政健全化計画を策定しなければなりません。)

区分	令和4年度	令和3年度	説明
実質赤字比率 15.00%	なし	なし	普通会計(一般会計と公園墓地会計)の実質的な赤字を示す割合。
連結実質赤字比率 20.00%	なし	なし	公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合。
実質公債費比率 25.0%	1.1%	0.8%	自治体の収入に対する借金返済額の割合。
将来負担比率 350.0%	なし	なし	将来にわたる実質的負債「借金」の割合。

監査の意見

令和4年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算につき、決算の計数が正確であることや予算の執行はおおむね適正かつ効率的に行われていること、健全な財政運営が行われたことが認められた。今後の運営では次の4点に留意願う。

- ① 土地開発基金の流動性を高めること。
- ② 税外収入の収入未済状況が若干増加傾向にあり、解消に努力願う。
- ③ 公共施設等の維持管理は、廃止や統合などを含めて整理することも必要かと考える。
- ④ 公共施設等はハード面のみならず、ソフト面でも、経常経費抑制を意識して、計画的な事務事業の執行を願う。

限られた財源で、効率的に行政サービスを行うことは非常に困難とは思われるが、住民ニーズとそとの優先順位を的確に判断し、透明性のある執行を望む。



代表監査委員
稲妻 敏行 さん

議案 審議

「水道事業」から 「上下水道事業」に

条例の改正

●水道事業の設置等に関する条例の一部改正

内容

令和6年4月1日より七ヶ浜町下水道事業を地方公営企業法の規定の適用を受ける事業へ移行することに伴い、所要の改正を行うものです。

「上下水道事業」に代わるよ



●保育所条例及び七ヶ浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正

内容

就学前の子供に関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い所要の改正を行うものです。



みんな仲良く宿題タイム

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

内容

「放課後児童健全育成事業」の規定を整理するものです。

採決の結果
いずれも
反対なく全会一致で可決

水道事業会計

●令和4年度未処分利益剰余金の処分

内容

令和4年度利益剰余金5000万円を建設改良積立金に積み立てるものです。

討論

反対

歌川 渡

水道料金として徴収し剰余金となった金額は町民に還元すべきで、建設改良積立金への積み立ては行つべきではない。

賛成

仁田 秀和

将来の人口減少により、経営は厳しくなることが予想されるため安定した財源を確保し、給水を持続することが管理者の責務であることから賛成とする。

採決の結果
賛成多数で可決

人事

任期満了に伴い、議会の同意を得て任命されます。

副町長 (再任)

平山 良一さん



任期
令和5年10月1日から
4年間

教育委員 (新任)

岩本 寿美子さん



任期
令和5年10月1日から
2年間

教育委員 (再任)

我妻 典夫さん



任期
令和5年10月1日から
4年間

固定資産
評価審査委員 (再任)

前木 孝悦さん



任期
令和5年10月1日から
3年間

正算 補予

第1スポーツ広場固定テント設置へ

令和5年度一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出にそれぞれ3億5153万円を追加し、総額を77億8761万円としました。主なものは、公共施設管理基金積立金への追加やさくら放課後児童クラブ駐車場舗装工事などです。本議案は原案のとおり可決しました。



主なもの

国や県への返還金

(7530万円)

防犯灯設置工事等へ追加

(49万円)

学校施設修繕料へ追加

(181万円)

公共施設管理基金積立金へ追加
(7500万円)

質疑

第1スポーツ広場テント設置工事
(800万円)

問 工事に至った経緯や内容は。

答 生涯学習課長
利用者から設置希望の意見があがっていた。日よけのみならず、雨が突然降った場合、特に子どもたちが荷物も含め避難する場所がないということもあり、設置が必要だという判断に至った。
設置場所は道路側で、国旗ポールを挟んで2基のテントを設置する。

返還金としては多いが、うまく利用することが大事である。反省点も含めて今後の利用は。

問 財政課長 申請する際、ある程度幅を持たせるのは仕方がないが、今後は過大な返還金にならないよう、各課に指導していく。

答 財政課長 申請する際、ある程度幅を持たせるのは仕方がないが、今後は過大な返還金にならないよう、各課に指導していく。

さくら放課後児童クラブ駐車場舗装工事
(2200万円)

問 工事内容は。

答 子ども未来課長
入り口側部分の舗装や周囲のフェンス設置および、舗装に合わせて側溝を整備する。



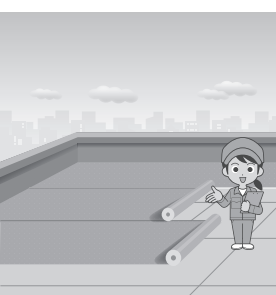
安全に渡れるね

問 設置の経緯や場所は。

答 防災対策室長 笹山
地区から要望があった。建設会社の事務所がある丁字路に横断歩道を設置するにあたり、塩釜警察署より防犯灯も設置するよう指示があった。

問 修繕内容は。

答 教育総務課長 汐見
小学校北校舎屋上防水シート修繕、体育館ひさしの雨漏り修繕、南校舎男子トイレ雨漏り修繕の3カ所である。



松くい虫伐倒駆除委託料へ追加
(666万円)

問 対象地域は。

答 産業課長 昨年度調査した花洲浜寺坂地区の沿岸部一帯である。



9月第2回会議

一般会計補正予算の主なもの

林業費補助金	466万円
森林環境整備基金繰入金	435万円
雑入	7400万円
急傾斜地崩壊対策事業債	100万円

問 財源は。

答 県町村会からの災害共済金である。

問 財政課長 目標の設定は。

答 定はしていないが、施設全体の老朽化が進んでいるので、20億円近くあれば良いと考える。

問 老朽化に対応するために積み立てるという説明だったが、目標値の設定は。

7月 会議

さくら放課後児童クラブを改築

7月会議を7月25日に開催し、さくら放課後児童クラブ改築工事請負契約の締結を審議しました。



着々と進んでいる工事(令和6年4月から利用開始予定)

工事請負契約

令和5年度さくら放課後児童クラブ改築工事

・契約金額

8547万円

・契約先

有限会社遠藤工務店

・工期

令和6年2月29日

質疑

問 落札率が78.09パーセントである。人件費や資材費の高騰で工事事業への影響は。

答 財政課長 入札書と一緒に、積算の内訳書も提出されている。その内容を審査し判断した。

採決の結果
反対なく全会一致で可決

議員提出議案

●東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出について責任ある対応を求める意見書

提出者 仁田 秀和
提案理由

ALPS処理水を海洋放出することで、水産業はもとより、農林業や観光交流など、あらゆる産業に多大な影響が及ぶことから、次の3点を国に強く要望するものです。

- ① ALPS処理水について、科学的根拠に基づいた調査を継続して実施し、広く国民に説明し理解を求めるとともに、その安全性に係る正確な情報を全世界に向けて確実に発信すること。
- ② 新たな風評被害を発生させないよう、被害を受ける漁業関係者に対し、将来にわたり安心して事業継続できるよう、総合的かつ強力な対策を講ずること。
- ③ 漁業者を含めた地域

の関係者の理解と合意が得られるまでは、ALPS処理水の海洋放出はせず、海洋放出以外の処分方法を継続して検討すること。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、復興大臣

●「再生資源物の屋外保管に関する規制内容を定める宮城県条例の制定を求める意見書」の提出について

提出者 佐藤 梶信
(前総務産業常任委員会)

提案理由

町内の再生資源物の取引施設により騒音、振動、ふんじん飛散、悪臭、火災騒ぎが発生しており、近隣住民の生活環境が脅かされ続けている。近隣の市町でも同様の事案が発生することが想定され、市町村の枠組みを超えて、より広範囲での規制が望ましいと考えられることから、再生資源物の屋外保管について県に条

例制定を求める意見書を提出するもの。

提出先

宮城県知事

採決の結果

いずれも

反対なく全会一致で可決

請願

令和5年6月会議で総務産業常任委員会に付託した請願を本会議で審議し、結果は次のとおりとなりました。

●「生活環境改善に関する請願書」

請願者

遠山地区代表区長

阿部由二

採決の結果

反対なく全会一致で採択

9月第2回会議 提出議案採決結果一覧 (9/25~10/6)



9月第2回会議では、人事や条例制定および改正や財産の取得、補正予算等の議案を審議しました。

賛否が分かれた案件は採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案等

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	鈴木洋市	鈴木篤	佐藤信輝	能勢鯨太	鈴木博	鈴木恵子	佐藤直美	熊谷明美	佐藤壮一	遠藤喜二	岡崎正憲	歌川渡	仁田秀和	安倍敏彦	
令和4年度一般会計決算	10	11	2	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和4年度下水道事業特別会計決算	10	11	2	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和4年度国民健康保険事業特別会計決算	10	11	2	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和4年度介護保険事業特別会計決算	10	11	2	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和4年度後期高齢者医療特別会計決算	10	11	2	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和4年度水道事業会計決算	10	11	2	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和4年度水道事業会計 未処分利益剰余金の処分	11	11	2	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	—

○賛成 ●反対 議長は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例制定・改正ほか	掲載ページ
令和4年度公園墓地会計事業特別会計決算	10
特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する条例の一部改正	11
放課後児童健全育成事業に関する条例の一部改正	11
水道事業の設置等に関する条例の一部改正	11

人事関係	掲載ページ
副町長の選任	11
教育委員会の委員の任命	11
固定資産評価審査委員会の委員の選任	11

補正予算	掲載ページ
令和5年度一般会計補正予算(第3号)	12
令和5年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	—
令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	—
令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	—
令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	—
令和5年度水道事業特別会計補正予算(第2号)	—





一般質問一覧表

9月第2回会議の一般質問は、10月5日と6日に行い7人が活発な議論を展開しました。

内容は質問者の原稿を原文に近い形で16~22ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

仁田 秀和 …… 16ページ

- 町長の選挙公約及び今後の町づくりについて

熊谷 明美 …… 17ページ

- 国民健康保険及び後期高齢者医療保険被保険者に対する脳検診・人間ドック費用の助成を
- 書かない窓口の設置を

佐藤 信輝 …… 18ページ

- 危険な側溝対策について

遠藤 喜二 …… 19ページ

- 公立または公的施設の考えはないかについて
- 中高一貫校の考えは
- 君ヶ岡公園十字路交差点に街路灯設置の考えはないかについて

鈴木 恵子 …… 20ページ

- 学校給食費の無償化で子どもの健やかな成長の保障を
- 町民の命を交通事故から守る施策を

佐藤 直美 …… 21ページ

- パートナーシップ・ファミリーシップ制度を導入する考えは
- 小中学校の充実した運営策は
- 母子健康センター改築について

歌川 渡 …… 22ページ

- 気象変動と物価・エネルギー高騰から町民の暮らしを守る施策を
- 汐見台団地内通路の植栽の剪定を
- 町民の選挙での投票率向上を図る施策を

ズバリ

町政を問う

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。



仁田 秀和

公約実現のため事業創設の考えは

町長 時代に即した事業に取り組みたい

問 任期満了に伴う選挙票で3選を果たされた。公約は、6つの柱を軸とした施策に取り組んでいくとのことである。公約実現にあたり、長期総合計画との整合性や新しい事業創設の考えは。

答 町長 6つの政策軸とそれに連携させた逍遙のまちづくりは、長期総合計画の基本構想や基本計画との整合性は図られていると思っている。それぞれの年度で実施計画を定める等、時代に即した新たな事業に取り組み必要があると考える。

問 防災での課題や新たな取り組みは。

答 町長 災害が平日昼間の場合、昼夜間人口比率が日本一低い本町では、避難行動要支援者の避難方法などが課題である。防災行動要支援者の個別避難計画策定時に、モデル地区として花洲浜地区の皆さんに取り組んで頂いたことを、全地区に広げていきたい。

問 防災として、住居の家具転倒防止器具取付費は補助対象であるが、器具取付により穴が生じる。賃貸物件や公営住宅の穴の、原状回復に係る費用を補助する考えは。

答 副町長 予算編成の協議で検討したい。

問 コミュニティの再構築や魅力発見、創出に寄与し、さらに、逍遙の町づくりの拠点となる「大東館」を再建する考えはないか。

答 町長 温泉施設などは、行政が積極的に設置して成功した事例があまりない。民間企業が来てくれるとありがたいと思う。

問 町のポテンシャルを活用し、産業活性化や企業誘致、移住定住を促進するためにも、市街化調整区域を市街化区域へ変更する必要があると考えるが。

答 町長 人口誘導や定住促進の観点から、県に対し、市街化調整区域の建築制限緩和を要望したところである。

問 防災の先進地として有名な、高知県黒潮町では「日本一短い、津波避難訓練」を実施している。避難行動要支援者の避難訓練として効果があると思うが。

答 防災対策室長 検討しながら前向きに進めていきたい。

問 抜本的な少子化対策を図るために、現金給付等により財政出動する考えは。

答 町長 将来の財源があれば考えるが、これから先を見据え、着実に持続的に進めていきたいので、考えていない。

問 今後の母子健康センターのあり方として、コンパクトシティの形成も考える時代だが。

答 副町長 幅広く情報を集めながら探っていくきたい。



かつては賑わっていた大東館跡地

問 「ぐるりんこ」は、代ヶ崎浜から漁協七ヶ浜支所へ向かう路線がない。他にも利用者から要望が出ていると思うが、今後の対応は。

答 政策課長 利用者か合うような時間帯が欲しいということなど、改善の要望がある。今後、時間の見直し等も含めて検討していきたい。



くまがい あけみ
熊谷 明美

脳検診費用の助成を

町長 検討課題としたい

問 厚労省が示している健康日本21(第2次)では「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」等を最終的な目標として国民の健康づくりを推進している。町策定の「第2期七ヶ浜町健康推進計画」でも震災前より「もつと元気な」町民の健康づくりに関する取り組みの方向性が示されている。脳血管疾患での死亡の割合を見ると本町は、男女共に県平均を大きく上回っている。統計やデータベースを活用し、疾病の罹患率データ化して健康管理に活かしているのか。

答 町長 平均寿命から健康な期間は、男女共に県平均を上回っている。統計資料が無く個別の把握には至っていないが、令和4年度において、脳疾患で受診や投薬を必要とした人数は、国民健康保険被保険者は342人で後期高齢者医療保険被保険者は700人である。

問 近隣市町では、脳検診の助成が以前から実施されている。本町ではなぜできないのか。

答 町民生活課長 まずは、基礎健診や特定健診を実施し、その結果を見て、必要な人に健康指導をしていきたい。

問 病気は早期発見、早期治療によつて完治や病状の軽減につながる。脳疾患は症状が出てからでは重篤化しやすい。予防の観点から脳検診や脳ドック費用の助成を実施する考えは。

答 町長 がんや心疾患は生活習慣病に起因するものが多い。その予防を主としたい。脳検診助成は検討課題としたい。

問 健康寿命延伸の考えから受診年齢を決めるなどして、人間ドック費用の助成を考えないか。

答 今のところ考えていない。

書かない窓口の設置を

町長 重点取り組みとしている

問 全国的に行政サービスのデジタル化が進んでいる。町民がデジタル社会の恩恵を受けられるように、各種証明書等を発行する時に申請書類を手書きで記入することなく、簡単に手続きができる「書かない窓口」の設置を考へはないか。

答 町長 住民ニーズに对应していくため、業務改善をしながらデジタル技術の活用を進めていく。本町のDX推進計画では、業務手続きのオンライン化を重点取り組みとした。方法には複数あり、何が有効か検討していきたい。

問 町ホームページに専用ページを開設し、いつでも手続きに必要な情報が入力でき、来庁時にそれを読み込むことで申請書類が印刷される方法は、混雑緩和や時間短縮につながるかと考へるが導入の考へは。

答 政策課長 関係課と検討していきたい。

問 スマートフォンを使って、オンラインだけで申請が済む「行かない窓口」の考へは。

答 町長 デジタルファーストの役場づくりを基本方針にかかげており、「行かない窓口」を視野に入れた検討は必要と考へる。令和5年2月よりマイナンバーサイトで転出届は可能となっている。可能なところから拡大していきたい。



デジタル化で手続きを簡単に



さとうのぶてる
佐藤 信輝

急勾配の側溝にふたがけの対策は

町長 安全防護柵を設置予定

問 町道吉田・花淵線付近を通っている深さのあるむき出しのままの側溝と、手作りと思われる側溝がある。幼児、小学生低学年のお子さんは、すっぽりと入ってしまう幅であり深さのこの側溝のある坂道は通学路にもなっており、手すりを使用する高齢者がバランスを崩し落ちた場合は一人ではい上がることは不可能である。側溝内も滑りやすくなっているが、この急勾配の坂道の側溝にふたがけの対策は。

答 町長 吉田花淵線の歩行者の安全性と有効幅員も確保した手すりを兼ねた安全防護柵設置工事を10月中旬より着手予定である。

問 近年、温暖化の異常気象によるゲリラ豪雨も頻発するようになり、集中豪雨が増加し、天気の急変などの気象条件が重なる自然の、ありのままの手作り側溝から雨水があふれ浸水する災害の危険が高まる。被害や事故を未然に食い止め、近隣地域の方々の命の安全を守るため、そして凶面通りの町道幅員を確保するために、手作り側溝対策は。

答 手作りとと思われる側溝は、素掘り側溝の底盤や側面をコンクリートで固め、大雨による側溝の洗掘工事を図ることにより、側溝と道路本体の補強保全を考慮して実施するとしているが、現場での施工において再度、子どもたちの安全面も含めて確認したい。

問 坂道にある急勾配の側溝である上、滑りやすくなっており、落ちやすくなるとマンホールの中に吸い込まれて命の危険がある。このままの状態が良いのか、質問と現場を照らし合わせるために検証する考えは。

答 防護柵の設置工事にてふたなしでの側溝の対策も含まれてはいる。素掘り側溝の底盤や側面をコンクリートで固め大雨による側溝の洗掘工事を図ることにより側溝と道路本体の補強保全を考慮して実施する。現場を見た時、勾配も急で流れも水量が多ければ危険だと感じた。工事はそういった部分を含めて設計工法を視野に入れて対応していきたいと考えている。

問 高台にある君ヶ岡から、そして吉田浜から雨水が集落の側溝を通じてあふれて、土と砂利を巻き込んで、一緒に道路上にあふれ流れている。雨水が通っているところの法面は町道と考えられ、側溝を整備するとしても民有地に関係なく幅に余裕があるが。

答 建設課長 一番上流の部分素掘りの側溝になっているところの部分がコンクリートの塊があり断面が閉塞していたという状況であるため工事する際はまずそこを確保し、雨水を通常に流れるような対策を施工予定。側溝の道路の拡幅までは、今のところ考えていない。



急勾配の側溝先のマンホール口



のりめん
法面を流れる雨水



えんどう よしじ
遠藤 喜二

民間病院が町に開設する場合は

健康福祉課長 できる限り協力したい

問 本町でも高齢化が一段と進み、毎日のように救急サイレンが聞こえる。町民の医療負担額の推移は。

答 町長 国民健康保険負担が、令和2年度で14億3700万円、3年度で15億2300万円、4年度で15億4000万円ある。後期高齢者医療費負担は、令和2年度で24億7500万円、3年度で26億900万円である。4年度の数値は公表されていないが年々増加している。
高度医療費の負担は町外が相当高くなる。

問 公立・公的病院設置の考えは。

答 町民の受診率は県下1位である。
受け入れ先の救急病院がなかなか決まらない。なおかつコロナ問題で受け入れが難しい状況である。他市町村の公立病院の経営状況を見ると、設置は難しい。

問 救急車の到着平均時間が9分9秒だが、病院側の受け入れに時間がかかり、病院等への収容所要時間は平均で50分48秒である。自宅前での救急車の待機時間が長く、生命にかかわる重大な問題である。

答 町長 民間の病院が町に来てもよいとなった場合は、健康福祉課長 できる限り協力したいと思っている。



病院への待機時間が長い

君ヶ岡交差点街路灯の不具合は 町長 早急に修理を行う

問 割山や国際村から君ヶ岡公園へ向かう登坂からの対向車のライトがまぶしくて信号が見えづらい。信号が変わったとき、帰宅途中の歩行者がひかれそうになった。街路灯が景色に溶け込んで私自身、3年以上気付かなかった。街路灯が立っていることに気付いて防災対策室に伝えたとこの見積もりを取るとのことであったが。

答 町長 国際村側の街路灯が不具合で点灯されていない。早急に修理を行い、明るさを確認し増設の必要性も検討したい。
また、他の不具合箇所があれば、早急の復旧に努めたい。



景色に溶け込んだ街路灯

中高一貫校の考えは

町長 今のところ考えていない

問 次第に生徒数も少なくなっている。若者の地元離れを食い止めるため、夢を乗せた中高一貫校の考えはないか。

答 町長 現段階では小中学校の在り方に注力している。来年度、町内小中学校の再編ビジョンの検討委員会を設置予定である。今のところ、中高一貫校の考えはない。



鈴木 恵子

学校給食無償化で健やかな成長を

町長 国の動向を見ながら検討したい

問 町長は学校給食無償化をどのように考えているか。

答 町長 現段階においては、学校給食の無償化までは財源的にも難しい。

学校給食費の食材費高騰に対応するため、今年度も1食当たり40円分の食材費を当初予算に計上し、学校給食費の値上げ抑制を図っている。さらに、準要保護世帯に対して、これまでに就学援助費として給食費を全額補助している。今年7月には、県町村会から政府に対し要望で完全無償化に取り組めるよう、国において必要な財源を確保する要望書を提出している。国の財政支援の動向を見ながら本町の対応を検討していく。

問 教育基本法の理念を踏まえれば、学校給食費は無償の対象になるのではないか。

答 学校給食法で設備に設置者が負担すると政令で定められている。学校給食に関する経費は、保護者の負担とすると定められている。

問 憲法26条は「義務教育はこれを無償にする」と明記していることから、学校給食費を無償にすべきではないか。

答 設置者が学校給食費を保護者から徴収することは、憲法に示されている。義務教育の無償に反しないという判例がある。

問 学校給食費無償化を求める署名を500筆提出した。町民の思いに答え、給食費を無償化すべきではないか。

答 最初の回答に準ずる。

問 本町の財政は、地方公共団体の安定性を判断する指標では最も上位のグループにいる。学校給食費無償化に踏み切つてほしいが、経済的支援を行う考えは。

答 財政課長 財政調整基金は、時々の状況に合わせて積み立てや取り崩しを行っている。積立金の目的は、これから人口減少で普通交付税の減少や町税の減収、施設の老朽が進むなど、現在のサービスを今後も維持するためである。



毎日の給食が楽しみ

自転車のヘルメット購入補助は

防災対策室長 検討する

問 境山二丁目大木団員塚入口の交差点で、事故が数回発生した。原因を踏まえた改善策は。

答 町長 原因は運転者の不注意で起きたと聞いている。警察案件となった場合は、町の方に情報が全く入っていないのが現状である。町道側に路面標示や看板の設置は可能であるため検討したい。

問 自転車利用者には、ヘルメット購入補助をする考えはないか。

答 防災対策室長 今後、塩釜地区交通安全協会で共有し検討する。



さとうなほみ
佐藤直美

パートナーシップ制度導入への準備の動きは

町長 研修会を実施した

問 令和4年12月会議でパートナーシップ制度導入の準備に関して質問した際、職員における研修は行っていないが、理解を深め情報収集に努めていくとの回答があった。その後の動きは。

答 町長 6月にLGB TQに対する基本的な理解を深めることを目的として、全職員を対象に研修会を実施した。スライドショーを用いた基本用語や現状および課題の説明、想定事例のケーススタディーを行った。

今後は、人権問題にも造詣が深い国際交流員の視点での職員向け研修を開催する。その後、専門家による研修等を行い、段階的かつ多面的そして継続的にスキルを向上させ、より理解を深めていくことに努めていく。

問 仙台市では、令和6年度中にパートナーシップ制度を創設する方針だが、町長の考えは。

答 仙台市がリードする形で、県全体での課題になると思う。

学校施設再編ビジョンとは

町長 地域を越えて検討するものである

問 所信表明の中で「近い将来を見据え、本町における学校施設再編ビジョンの検討に取り組んでまいります」と表明されたが説明を求めます。

答 町長 新たな時代に向けて地域を越えて検討に取り組むものである。学校施設再編は、少子化による学級数の減少や子どもたちの学びの質を維持向上させる観点からも検討が必要である。しかし地域コミュニティや子どもたちの生活環境にも大きな影響を及ぼすことから、時間をかけて丁寧に検討を進めていく。

問 新聞には「小中学校の再編ビジョンなどを検討する委員会を来年度に立ち上げる方針を決めた。メンバーは町教委を主体に、住民らを加えて構成する」と掲載されていたが。

答 来年度に設置を目指すし、今後、委員の選出方法等も検討を進める。学校施設再編ビジョンは、検討委員会の中で学校の在り方をはじめ、教育環境や地域との連携、学校施設の環境等、地域住民や保護者、関係者と意見を交えながら慎重に進めていく。



夏の間は本当に暑くて辛い

問 今年度は連日猛暑のため、暑さ指数が高すぎ、部活動が中止になった日が続いた。屋外のみならず、体育館内の温度も高く集会等も行うことができなかった。児童生徒が暑さに翻弄されずに活動できるよう、小中学校の体育館にエアコンを設置する考えは。

答 教育長 体育館にエアコンがなければ、今後、運動等をするのは不可能な時代になるのではという声が多く寄せられていることも、文部科学省のホームページにはある。

国や県内各市町村、全国都道府県教育委員会とも話題にはしているが、現実は大変厳しい状態にある。今後新しい学校を作るときなどには適用されるものと思うが、現時点では設置の検討はない。

※その他にもこんな質問をしました。
「母子健康センター改築について」



うたがわ わたる
歌川 渡

物価高騰から暮らしを守る支援を

町長 国や県の動向を注視したい

問 夏の猛暑と物価高騰で町民生活に大きな影響を及ぼしている。これまで国の交付金で経済支援を実施しているが、さらに全町民を対象とした、町独自の以下の経済支援の実施の考えはないか。

- ①水道基本料金の引き続く免除実施。
- ②農業・漁業者への資材、飼料高騰分の支援。
- ③中・小規模事業者への原材料、資材、電気代等の支援。
- ④運送事業・ゴミ収集事業等事業者への燃料代の支援。
- ⑤低所得世帯、ひとり親世帯に電気代等の支援。
- ⑥生活保護世帯、高齢者世帯へのエアコン設置支援と電気代等の支援。

答 町長 「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」約1億3163万円を活用し、これらの事業を実施してきた。

9月25日、岸田首相は足元の急激な物価高から国民生活を守る施策を示した。今後、国や県の動向を注視していきたい。

選挙の投票率向上を啓発活動を継続していく

選挙管理委員会書記長

問 町議選挙の投票率が45.5%となった要因はどこにあったのか。

答 選挙管理委員会書記長 政治への関心の低下と若者の選挙離れで、選挙に関心がない、どの候補者に投票したらよいか分からない、投票しても変わらない、などが要因である。

問 10月22日の県議会議員選挙の、投票率の向上を図るための施策を講じているのか。

答 これまで同様の啓発活動を継続していく。

汐見台団地内通路の植栽

町長 区長と協議し 剪定を検討したい

問 七十七銀行七ヶ浜支店、ヤマザワ汐見台店間から中央公園を経てバス通りまでの南北通路や六丁目バス停から五丁目つぐいす公園までの緑道の植栽の剪定は。

答 町長 各ヶ所の一部は中低木が多く茂っており、歩行者が緑道より、町道へ出る際に見えるべく、支障をきたしていると感じている。緑道の管理は公園も含めて各丁目ごとに地区住民の協力を得て管理している。区長と協議し、剪定を検討したい。



大人の背丈以上に生い茂っているサツキ

委員会レポート

これも議会の仕事です

議案は、議員全員で審議したり調査するのが理想ですが、議会で取り上げる内容は複雑で範囲也多岐にわたっており、質疑などで多くの時間が必要になります。

そのためにいくつかの委員会を設置して、調査を専門的に分担して行うのが委員会活動です。

今回、その構成メンバーが決まり、調査事項が決定しましたので紹介します。

総務産業常任委員会

担当する課

総務課、防災対策室、政策課 復興推進室、財政課、税務課、会計課、産業課、建設課及び水道事業所の所管に属する事項並びにその他の委員会の所管に属さない事項を担当します。

9月第2回会議以降における調査事項

「狭い道路と危険な側溝の安全対策について」
「DXを活用したぐるりんこの運用について」



◎委員長
◎副委員長
前列右より
○歌川 渡
◎佐藤 壮一
岡崎 正憲
後列右より
能勢 鯨太
遠藤 喜一
佐藤 信輝

教育民生常任委員会

担当する課

町民生活課、子ども未来課、健康福祉課、長寿社会課、国際村及び教育委員会の所管に属する事項を担当します。

9月第2回会議以降における調査事項

「学校教育環境の充実について」
「子どもの子育て支援事業計画について」
「小中学校再編」シミュレーションについて」
「国民健康保険の健全運営について」



前列右より
○佐藤 直美
◎熊谷 明美
鈴木 恵子
後列右より
鈴木 篤
仁田 秀和
鈴木 博
鈴木 洋市

議会運営委員会

議会運営委員会では、議会の円滑な運営のため、会期や議案の審査を行うほか、議会活動において改善すべきところの調査を行います。



前列右より
歌川 渡
◎仁田 秀和
岡崎 正憲

後列右より
佐藤 直美
佐藤 壮一
◎熊谷 明美

広報広聴常任委員会（広報分科会・広聴分科会）

【広報分科会】

広報分科会では、議会の活動状況をお知らせし、議会に関心を持っていただくために、きめ細やかでタイムリーな情報発信を行ってまいります。



前列右より
佐藤 直美
◎仁田 秀和
鈴木 恵子

後列右より
鈴木 篤
能勢 鯨太
佐藤 信輝

【広聴分科会】

広聴分科会では、町民の皆様の声を幅広く拾い集めるために、議会報告懇談会等の活動を行います。



前列右より
遠藤 喜一
◎熊谷 明美
岡崎 正憲

後列右より
鈴木 洋市
歌川 渡
佐藤 壮一
鈴木 博

議会活性化検討 特別委員会

委員長 仁田 秀和
副委員長 熊谷 明美

議会は、住民自治の基盤であり、住民代表機関として民主的な合意形成を進め、民意を集約して団体意思を決定する重要な役割を有しております。

より効率的かつ効果的で、時代に即した議会を目指すために本委員会を立ち上げました。議会活性化策としての課題は山積しておりますが、ひとりでも多くの町民の

皆さんの声を町政に、反映させるために、効果を検証しながら活性化に取り組んでまいりたいと考えております。

今後は、議会活性化策を協議し、お知らせいたします。

また、11月2日に、講師として第一法規株式会社をお招きし、研修会を実施しました。テーマは「法令・条例の読み方」として、改めて法令・条例を読む力を身につけることの重要性を実感しました。



本町に合った条例作りに向けて

今号では、前号(156号)に掲載しました。

「議員定数および議員報酬について」審議した結果の、特別職給料等審議会への答申結果を要約し掲載します。

(全文は町ホームページに掲載されております。また、諮問の内容は、前号をご参照ください)

●特別職給料等審議会

答申

1. 結論

議会議員の議員報酬の額について、増額することとは認められない。

2. 理由

議員報酬額の考え方として、地方議会議員における議員報酬は、議員に対する一定の役務に対する対価として与えられる反対給付であつて、生活給である国会議員に支給される歳費や常勤の職員に支給される給料とはその性質を異にするものであり、常勤の職員に対する規制と同等又はそれ以上の規制を敷く必要がある。

そして、役務の対価である以上は、その役務の

対象となる活動の範囲と内容によって報酬の額が確定される必要がある。

議員報酬を引き上げることで、なり手不足を解消するという考え方は、次代のために若手の議員を育成する必要があるという点において、理解することはできる。しかし、「報酬額を引き上げたとしても、なり手不足の解消にはつながらない。」「そもそも、議員

は、町民の代表として執行部に町民の意見を伝え、住民福祉の向上をはかるために存在しているのであるから、報酬目的で議員になろうとするものはない。」「現職の議員たちが普段から地域の活動に積極的に参加し、互いに切磋琢磨し、町民からの信頼を得ることが先であり、現時点での増額は適当ではない。」という意見が出された。

意見をまとめるにあたり、人口規模および面積が同程度である町村の議員報酬額の平均額を検証した。また町民の要望、これまでの議員活動並びに報酬額改定の経緯、他

の特別職の報酬額および本町の現状等に関する審議を行った。結果として、本町の議員報酬の額は、同規模自治体と比較すると全く遜色がなく、議員活動の内容に対する町民の評価、一般議員と議長との活動量が同等であるという議長の主張等を総合的に勘案し、現時点で議員報酬額を増額することとは認められないという結論に達した。

今後は、審議会の答申結果を踏まえ、あらためて「議員定数や議員報酬について」協議することを検討してまいります。

議会として、町民の皆さんのご理解をいただくためにも、引き続き慎重に協議していきたいと思います。

特別職給料等審議会

会長 阿部 由二

職務代理

江口 龍市

委員 伊藤 喜久雄

相澤 豊

伊藤 芳夫

小原 至

鈴木 亨

佐藤 徳康

斎藤 重俊

渡辺 とき子

町議会から選出する 一部事務組合等の紹介

一部事務組合は、市町村等が共同で事業を行う目的で設立する団体です。一部事務組合等に設置されている議会は、それぞれの市町村議会から選出された議員が圏域を代表し、地方自治法に基づく議決事件に対する話し合い等を行い、条例や予算など重要事項を決定する機関です。今回は、本町議会から選出される一部事務組合議会等の所管事務内容などを紹介します。

塩釜地区消防事務組合

塩釜地区消防事務組合は、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町の二市三町で構成された、一部事務組合です。

●共同処理する事務

- (1) 消防に関する事務(消防団に関する事務をのぞく。)
- (2) 介護認定審査会の設置及び運営などに関する事務。
- (3) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適性化に関する事務。
- (4) 火薬類取締法に基づく事務。
- (5) 障がい者に関する市町村審査会の設置および運営に関する事務。
- (6) し尿処理施設の設置および管理運営に関する事務。
- (7) 火葬場の設置および管理運営に関する事務。

令和4年度負担金決算	
塩釜地区消防事務組合負担金	2億6425万円
塩釜地区共同運営事業	1750万円
塩釜地区し尿処理施設環境センター負担金	1037万円

建設負担金 1176万円
維持管理負担金 574万円

宮城東部衛生処理組合

宮城東部衛生処理組合は、多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町の一市三町で構成され、不燃ごみの埋立事業も共同事業の一環に取り入れて処理するなど、構成市町のごみ処理を担っている一部事務組合です。

令和4年度負担金決算	
宮城東部衛生処理組合負担金	1億3663万円

宮城県後期高齢者医療広域連合

宮城県後期高齢者医療広域連合は、県内の36市町村が加入する広域連合です。後期高齢者医療制度は、広域連合が運営主体となり、「広域計画」に基づき、全市町村と連携しながら事務を行います。

●広域連合の事業内容

- (1) 被保険者の資格取得・喪失や被保険者証の交付
- (2) 保険料の賦課
- (3) 給付に関する事務
- (4) 保健事業

令和4年度負担金決算	
介護認定審査会費負担金	1473万円



議会報告・懇談会を 開催します

議会報告・懇談会を12月16日(土)・17日(日)の2日間開催いたします。皆様の参加をお待ちしております。

開催日	時間	会場	対象地区	班	班編成
12月16日 (土)	午前 10:00 ~ 11:30	遠山地区避難所	遠山	1班	1班 鈴木洋市 能勢鯨太 佐藤直美 遠藤喜二
		笹山地区避難所	笹山	2班	
		湊浜地区避難所	湊浜	3班	
	午後 1:30 ~ 3:00	要害・御林地区避難所	要害・御林	1班	2班
		花淵浜地区避難所	花淵浜	2班	
		亦楽公民分館	亦楽	3班	
	午後 3:30 ~ 5:00	汐見台南第二集会所	汐見台南	1班	鈴木 篤 鈴木 博 熊谷明美 岡崎正憲
		汐見台第二分館	汐見台	2班	
		境山地区公民分館	境山	3班	
12月17日 (日)	午前 10:00 ~ 11:30	菖蒲田浜地区避難所	菖蒲田浜	1班	3班 佐藤信輝 鈴木恵子 佐藤壮一 歌川 渡
		松ヶ浜地区避難所	松ヶ浜	2班	
		代ヶ崎浜地区避難所	代ヶ崎浜	3班	
	午後 1:30 ~ 3:00	吉田浜コミュニティセンター	吉田浜	1班	
		東宮浜地区交流センター	東宮浜	2班	

※議会だよりNo.157をご持参願います。

対象地区以外の方でも参加できますので、都合の良い会場にお越しください。



今年5月に開催された議会報告・懇談会の様子
多くのご参加をお待ちしております

